

TVスタンド
取扱い及び組立説明書

PDR-WA850BK・WA1050BK

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
本製品を組み立てる前に、必ず別紙「安全上のご注意」と下記内容をご覧ください、
正しく組み立て・ご使用されますようお願い致します。

組み立て前にお読み下さい

- 軍手などで手を保護してから組み立ててください。
- 組み立ての際は、付属工具をお使いください。
- 組み立ての際は、手や指を挟まないよう十分ご注意ください。
- 組み立て手順に従い、各部品をしっかりと固定してください。締め付け・かみ合わせが緩いと危険です。
- 組み立て時は床などを傷付けないよう、十分にご注意ください。
- 定期的にボルトやキャスターの締め直しを行ってください。緩んだまま使用されますと、転倒・崩壊の可能性があり、非常に危険です。

マーク一覧

注

このマークのある組み立ては、特に気を付けて行ってください。

付属工具

付属工具を使っての組み立てがあります。

ドライバー

ドライバーを使っての組み立てがあります。

2人組立

2人以上で作業を行って下さい。

左右共通

組み立てに左右共通のパーツを使用します。

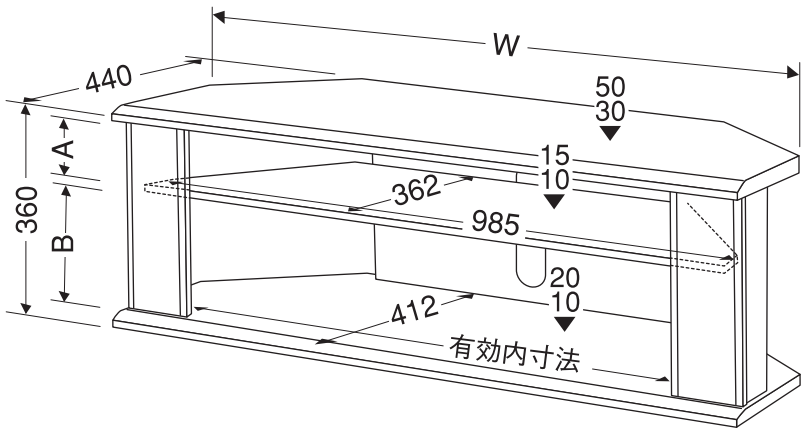
製品には万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

商品に関するお問い合わせは

●エレコム 総合インフォメーションセンター
TEL.0570-084-465 FAX.0570-050-012

受付時間
9:00～19:00

年中無休



※可変棚の取り付けの高さにより、有効高さ寸法が異なります

A	85	115	145
B	170	140	110

耐荷重
(▼Kg)
総耐荷重:80kg

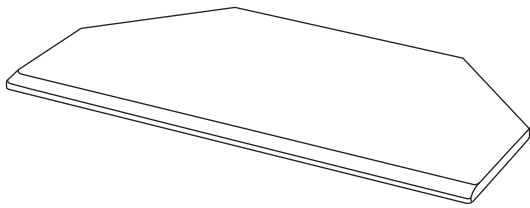
	W	有効内寸法
PDR-WA850BK	850	668
PDR-WA1050BK	1050	818

- 総耐荷重**
製品に載せる機器等重量の合計が数値を超えないようにしてください
- 平均分布耐荷重** (図面中の上の数値)
天板・棚板全体に分布するように機器を配置するときの参考にご覧ください
- 中心付近耐荷重** (図面の下の数値)
載せる物の重量がこの数値以下なら、どこに設置してもまず問題はありません

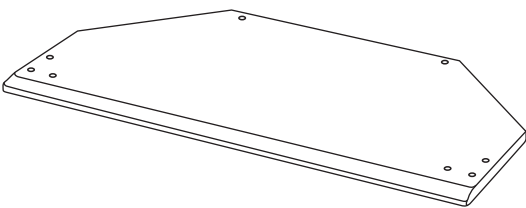
部品一覧

※組み立てを行う前に、以下の部材がすべて揃っているかご確認ください。

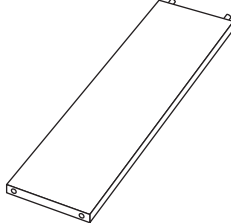
① 天板 1枚



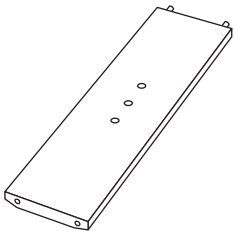
② 底板 1枚



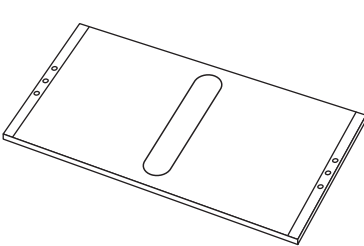
③ 側板 2枚



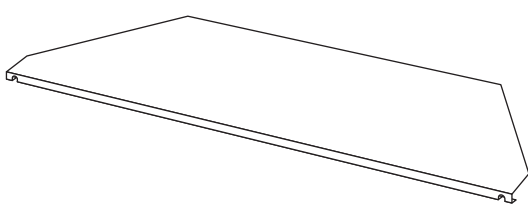
④ 前板 2枚



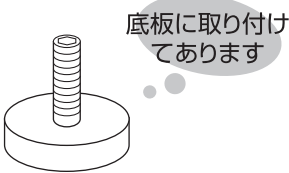
⑤ バックパネル 1枚



⑥ 棚板 1枚

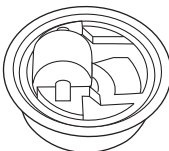


⑦ ストッパー 2個



底板に取り付けてあります

⑧ 隠しキャスター PDR-WA850 4個
PDR-WA1050 5個



底板に取り付けてあります

① 11本 (内1本は予備です)

ボルト (M6×38)

② 3本 (内1本は予備です)

ボルト (M6×20)

③ 4本

棚受けダボ

六角レンチ (+ドライバー付)

付属工具 1本

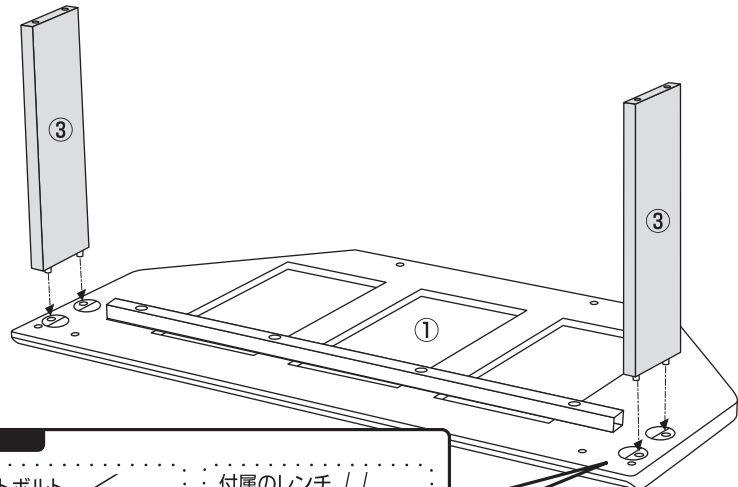
組立説明

※本製品はロックダウン式家具です。必ず組み立て手順、組み立て上の注意事項等の指示に従って組み立てを行ってください。
※床やラック本体を傷付けないよう、段ボールや防傷シートを敷くなどして組み立ててください。

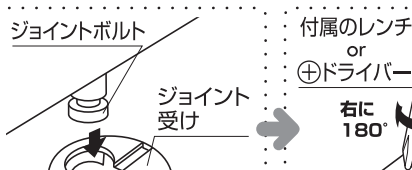
使用する工具&ご用意いただくもの



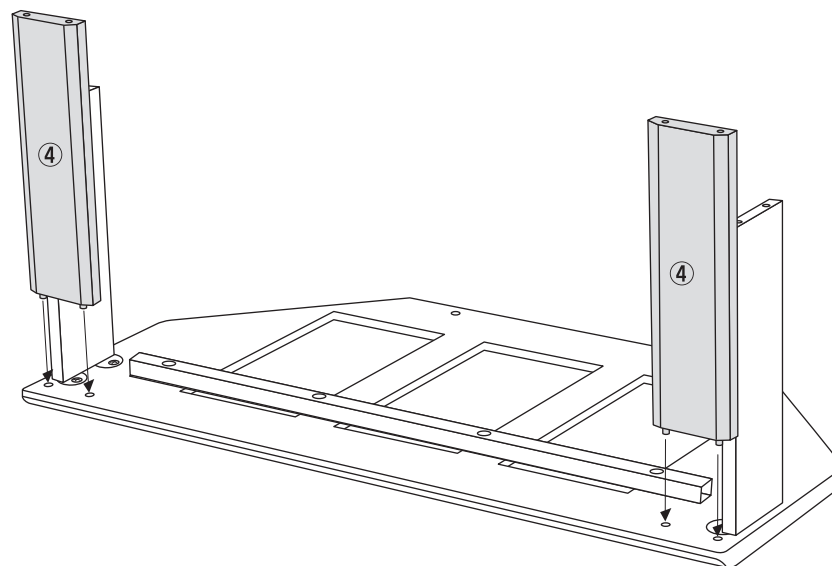
- 1
 - 天板①を裏返しに置き、図のように側板③のジョイントボルトをジョイント受けに差し込みます。
 - 付属のレンチもしくは⊕ドライバーで4ヶ所のジョイント受けの⊕ネジを、右に180°締め付けます。(別図1参照)



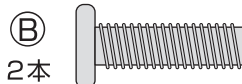
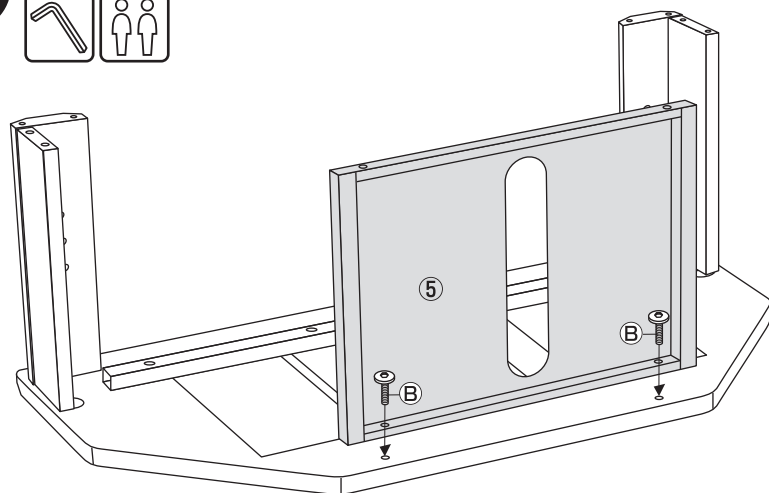
別図1



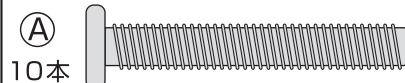
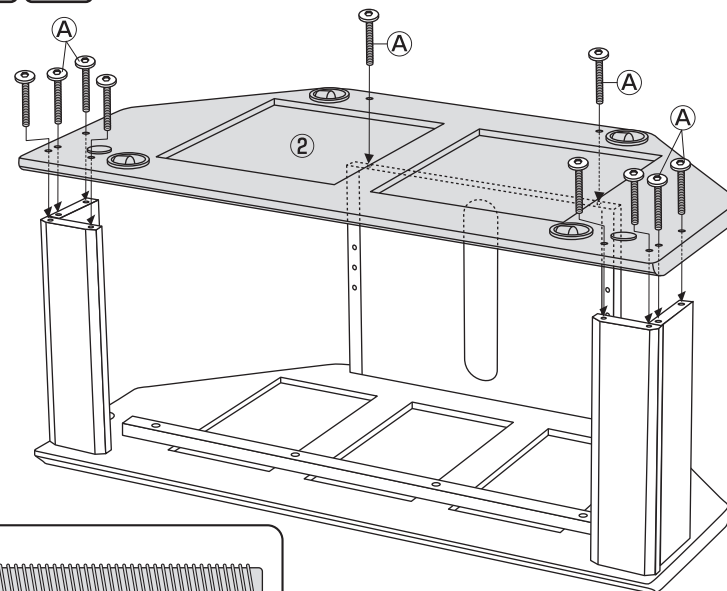
- 2
 - 図のように前板④を差し込みます。



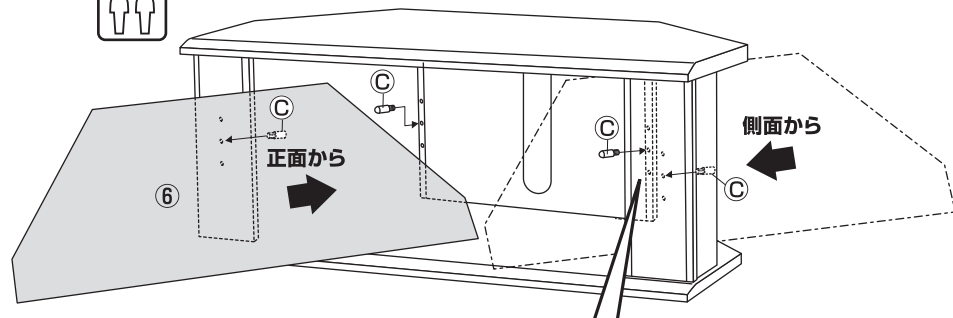
- 3
 - バックパネル⑤をボルトBでゆるめに取り付けます。



- 4
 - 付属のレンチを使用して、底板②に前板・側板・バックパネルをボルトAで固定します。
 - ゆるく締めておいたボルトを全て締め付けます。

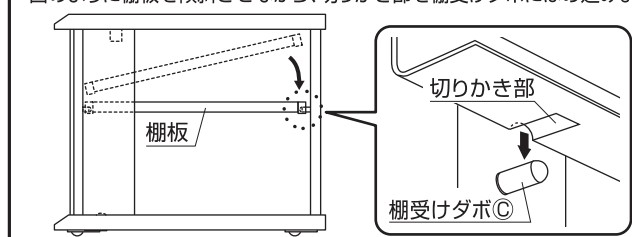


- 5
 - 本体を2人で立て起こします。
 - お好みの高さに棚受けダボCを取り付けます。
 - 図のように棚板⑥を正面もしくは側面から斜めにして入れます。
 - 棚板⑥を傾斜させ、棚受けダボに切りかき部はめ込みます。(別図2参照)

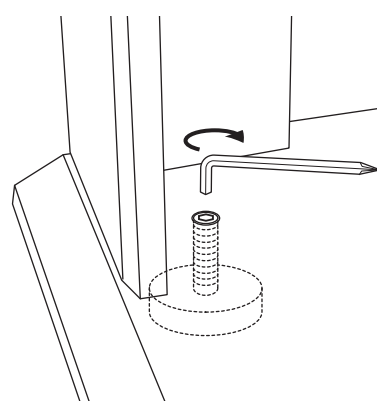


別図2

図のように棚板を傾斜させながら、切りかき部を棚受けダボにはめ込みます。



ストッパーの使用方法



左右の前板裏側にストッパーの六角穴があります。

付属のレンチを使用して、右に回すとストッパーが下がり、前部キャスターを床から浮かせてTVスタンドを安定させることができます。
(天板にTV等を載せたまま作業や移動を行わないでください。転倒の危険があり危険です。)